

**Q** 保育所の臨時職員は何名いるのか。また、こども園の1人当たりの保育室の面積は、どのような基準で示されているのか。

**A** 保育所とこども園を併せて7つの保育施設があり、給食調理員、栄養士を含め、133名で運営をしています。そのうち正職員が63名、臨時職員は70名です。

**Q** こども園の1人当たりの保育室の面積は、国の認可保育所最低基準の中でこども1人当たりの面積が指示されており、0歳児と1歳児では、1人当たり3.3㎡を確保するようになっていきます。

**Q** 各園の保育室の面積は十分満たされているのか。

**A** 認可保育所最低基準の0歳児と1歳児1人当たり3.3㎡、2歳児以上1人当たり1.98㎡を確保した運営で行っています。

**Q** 健診の会場を増設できないか。

**A** 平成22年度は、特定健診と介護予防健診等を合同で実施することから、広い会場の確保が必要となり、各保健センター及び蓮沼スポーツプラザ、山武の森中央会館を予定しています。

**Q** 地域医療支援研究寄附金の内容は。

**A** 医師確保のため大学に地域医療の研究助成金という形で寄附するものです。

**Q** 少人数指導授業推進事業の現状は。

**A** 市独自に2人の教員を学校に配置しています。

**Q** 議案第23号について  
国保成東病院清算余剰金の未収金と看護師奨励入学準備金返還金の内容は。

**A** 決算見込みで、医業の未収金が5億2375万円、医業外未収金が1150万円を見込んだものです。

**Q** 貸付返還金については、現在、2名の奨学生がおり、3月に卒業します。4月以降に毎月1万円ずつ返納していただく予定です。

**Q** 国保成東病院の解散に伴う財産処分に係る繰入金は、何を示すのか。

**A** 成東病院が起債で借りていた分を構成市町で返済するもので、山武市以外の構成団体から一たん入ってくる分です。

**Q** 議案第27号について  
さんむ医療センター中期目標は、市民にどのようPRするのか。

**A** 法律で公表することとなっています。広報紙や市のホームページで、PRをしています。

**経済環境常任委員会**

3月5日開催  
付託案件と審査結果

○議案第7号、第10号の一部、第15号、第18号の一部、第24号  
(原案可決)

○陳情第1号  
(不採択)

○陳情第4号  
(継続審査)

○委員会質疑要約(主なもの)  
議案第15号について

**Q** 執行残の減額補正を行うたが、入札率は85%~90%です。

**Q** 議案第18号について  
ペレットストーブ購入補助金の上限額とペレット燃料の使用量の目安は。

**A** 上限はストーブ1台に20万円です。使用量の目安は1時間に約1kgです。

**Q** ペレットストーブの普及の目標値は。

**A** 導入の助成は普及を図るため5年程度継続していきたい。年間5~6台の導入を予定しています。

**Q** 機械を購入しても機械が入れない道や間伐材が全く搬出できないような市道もあるが、材の搬出をすることで利活用を進める第一歩なればと考えます。

**Q** 消費生活相談の相談内容は。

**A** 多重債務や食品の問題、おれおれ詐欺などありとあらゆる相談を受けています。

**Q** 相談員の資格と、プライバシーの保護は。

**A** 相談員は研修を受け、国家資格を有している方で、全員市外の方です。相談内容やプライバシーも守られています。

**Q** 議案第24号について  
農業集落排水事業で大平地区、大富地区の加入率と、加入率が低い場合その近隣エリアも対象となるのか。

**A** 大平地区41.9%、大富地区39%です。区域外であっても、要望があれば考えていかなければならない。

**都市建設常任委員会**

3月8日開催  
付託案件と審査結果

○議案第10号の一部、第16号、第18号の一部、第25号  
(原案可決)

○委員会質疑要約(主なもの)  
議案第10号について

**Q** 舗装修繕工事、道路改良工事の内容について。

**A** 舗装修繕工事は蓮沼地区の母子川面を実施する予定です。道路改良工事は山武地区の日向の森の北側及び南側を予定しています。

**Q** 議案第18号について  
飯岡一宮線バイパス建設促進期成同盟会の負担金が平成21年度予算より減額になっているがその理由は。

**A** 減額の理由は繰り越しが多いためです。

**Q** 予算が減額になるということは活動が活発ではないととらえられるが、来年度の要望活動は。

**A** 構成市町と一緒に、毎年早期実現に関して一番の問題は用地交渉ですが、現在は県が単独で行っていますので、市も何らかの関与をもって進めていければと思います。

**Q** 道路維持補修事業の予算で市民の要望に対して何%応えることができますか。

**A** 年間100件ほどの要望を受けますが、ほぼ100%近く応えることができます。

**Q** 地籍測量委託業務の今後の方向性は。

**A** 平成7年度から実施している事業です。平成22年度は椎崎地区の現況測量、境界の確認、公図及び所有者の確認、分筆等の確認を実施する予定です。椎崎地区を完了して、一時休止する予定です。